

諏訪之瀬島の火山活動 -2008年10月~2009年1月-*

Volcanic Activity of Suwanosejima Volcano, October 2008 - January 2009

福岡管区気象台 火山監視・情報センター
 鹿児島地方気象台
 Volcanic Observations and Information Center,
 Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA
 Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

1. 噴火活動 (第2図、第3図)

期間中の噴火日数は45日であった。

爆発的噴火¹⁾は132回発生し、11月12日には19回発生した。

また、有色噴煙は期間を通して観測され、噴煙の最高高度²⁾は火口縁上2,000mであった。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、10~12月上旬にかけて島内の集落(御岳の南南西約4km)で降灰が時々確認された。

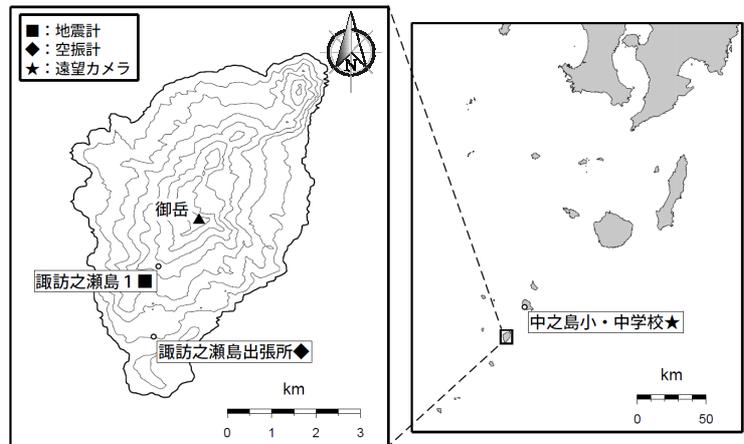
2. 地震、微動活動 (第2~4図)

A型地震の月発生回数は11~36回、B型地震の月発生回数は10月570回、11月760回と増加したが、12月には132回と減少した。

火山性微動の月発生回数は10月344回、11月540回と増加したが、12月には47回と減少した。火山性連続微動は期間中時々発生し、10月と11月に一時的に振幅が増大した。

3. 火口や噴気の状態 (第5~11図)

10月17~23日に実施した現地調査及び10月21日、11月13日、12月16日(鹿児島県、第十管区海上保安本部、海上自衛隊鹿屋航空分遣隊の協力による)に行なった上空からの観測では、御岳火口周辺の状況等に変化はなかったが、12月の観測では火口内に溶岩頭を確認した。

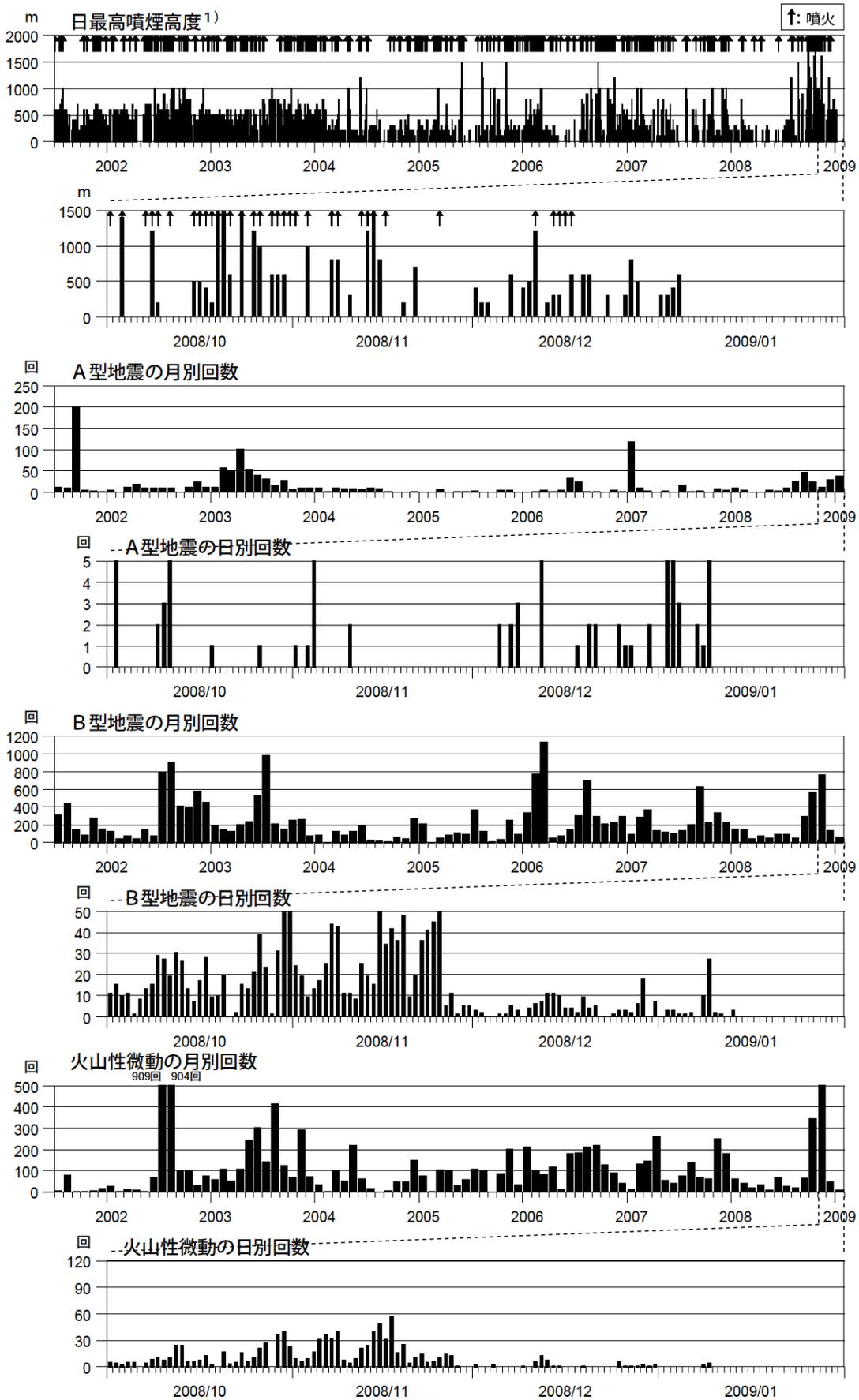


第1図 諏訪之瀬島 観測点配置図

Fig.1 Location map of permanent observation sites of JMA around Suwanosejima.

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用した。

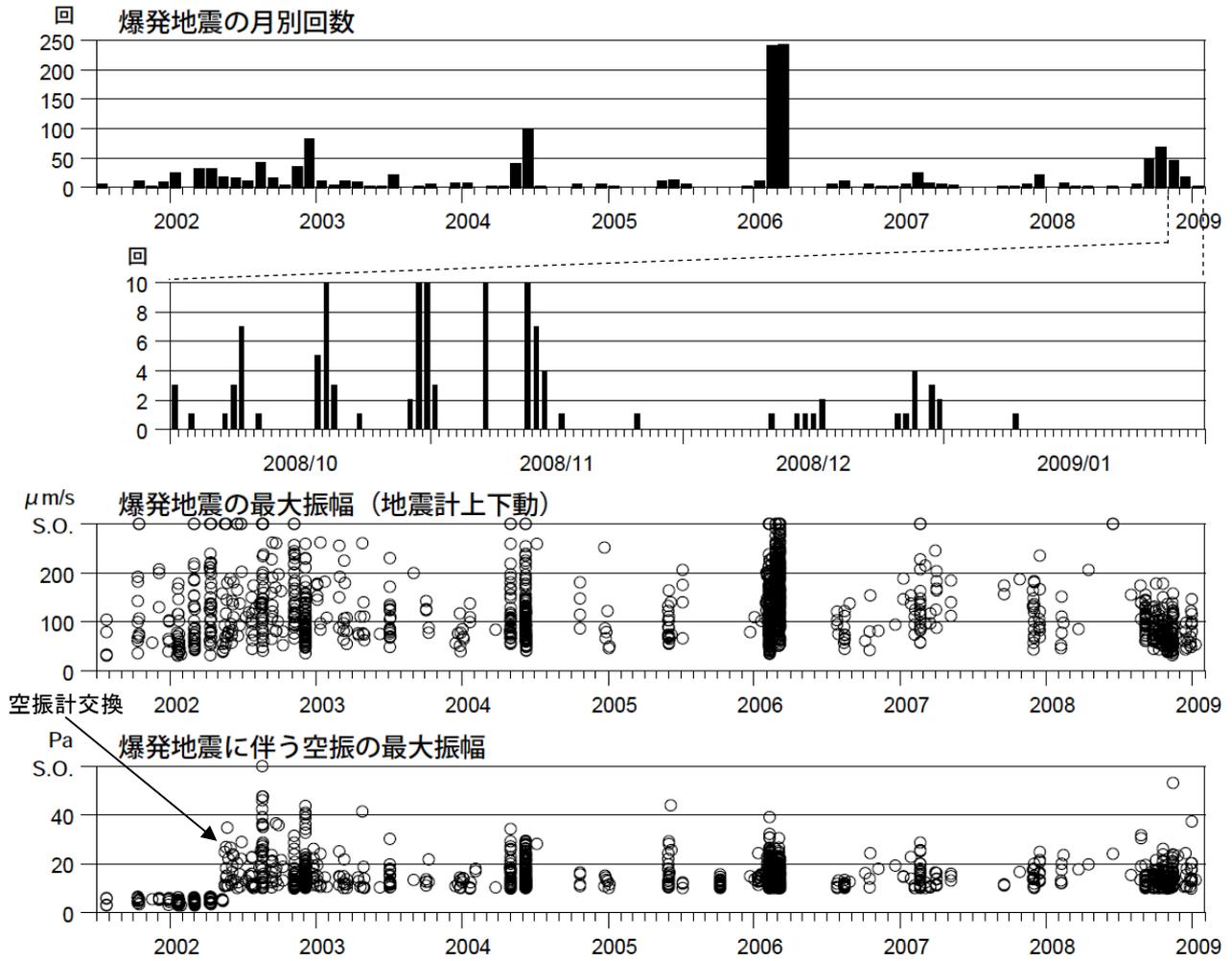
1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としている。
 2) 2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を用いている。



第2図 諏訪之瀬島 火山活動経過図 (2001年7月～2009年1月15日)

Fig.2 Volcanic activity of Suwanosejima Volcano(July 2001 – January 15, 2009).

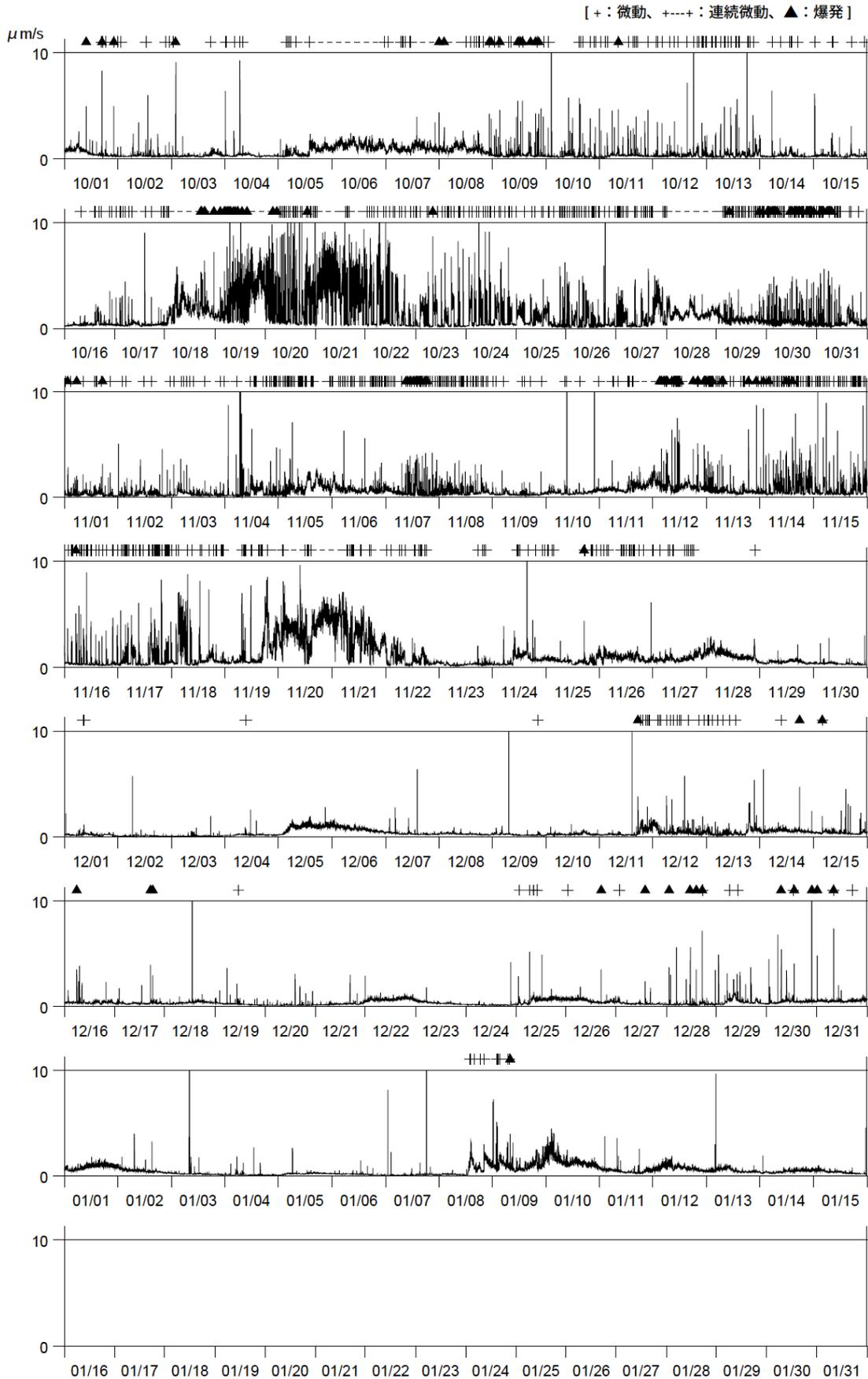
- ・有色噴煙は期間を通して観測され、噴煙の最高高度は火口縁上2,000mであった。
- ・火山性地震・火山性微動の発生回数は共に10～11月に増加した。



第3図 諏訪之瀬島 爆発地震の発生状況 (2001年7月～2009年1月15日)

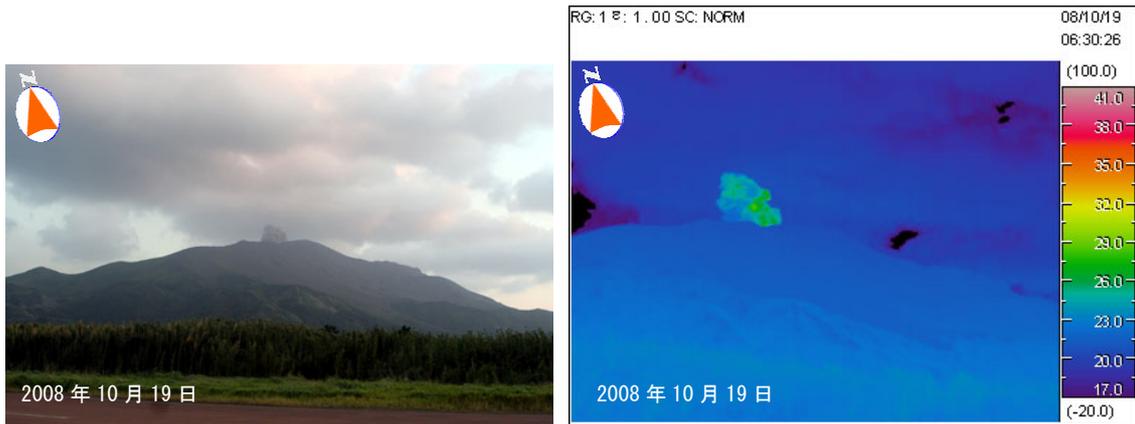
Fig.3 Monthly number and maximum amplitude of explosion earthquakes(July 2001 – January 15, 2009).

*爆発は地震計の最大振幅 $30 \mu\text{m}/\text{sec}$ 以上 (上下動) かつ空振計の最大振幅 10Pa 以上のものを計数している。



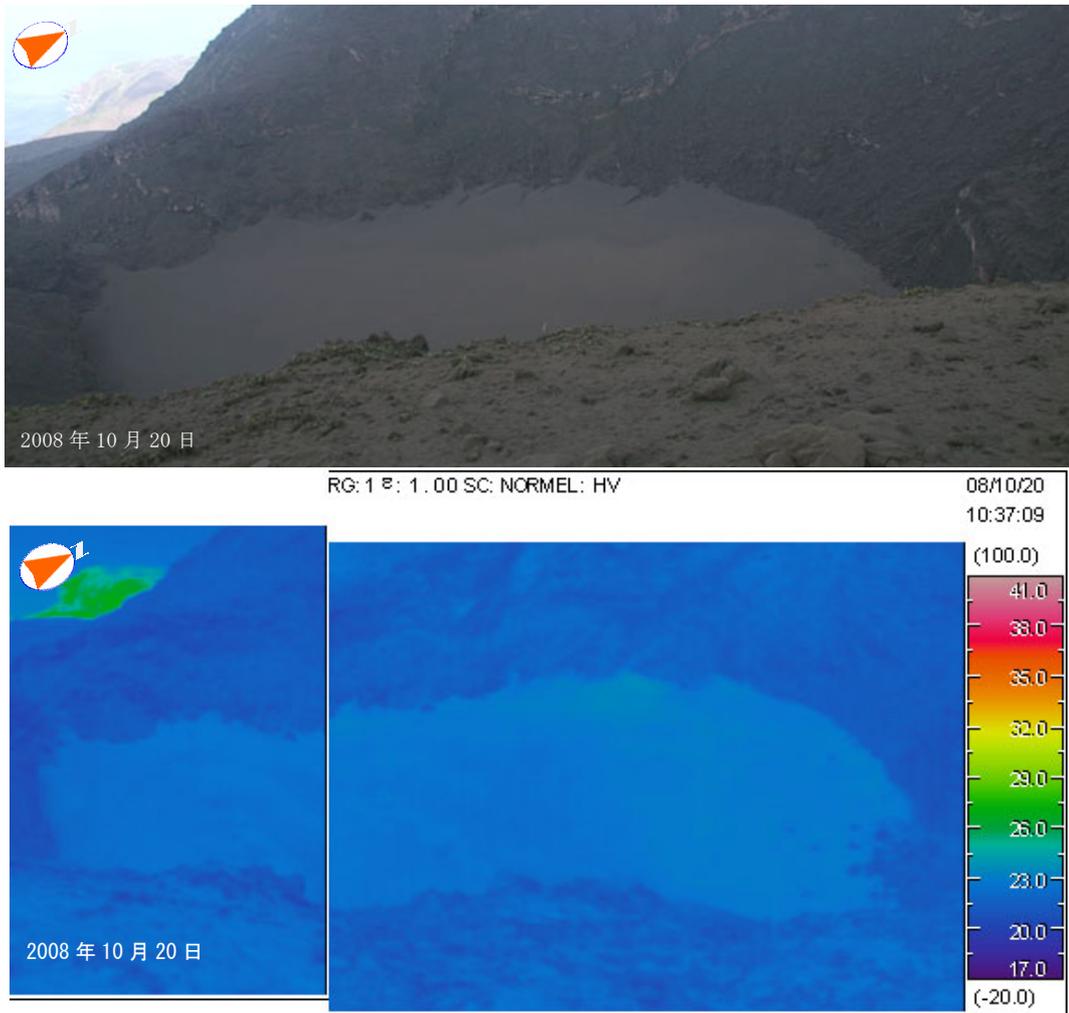
第4図 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化(SWA1上下成分)(2008年10月~2009年1月)
Fig.4 Variation of mean amplitude for one minute(October 2008 – January 2009).

火山性連続微動が時々発生し、10月と11月に一時的に振幅が増大した。



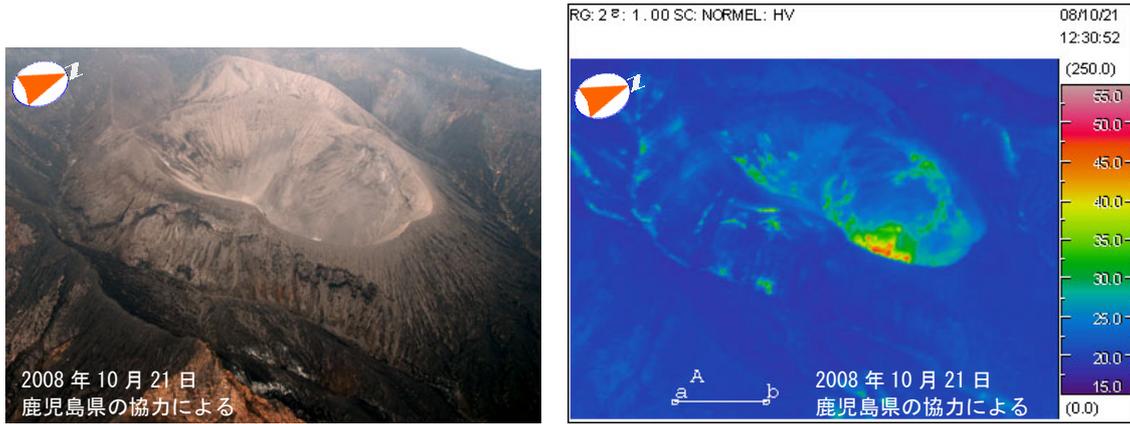
第5図 諏訪之瀬島 可視及び地表面温度分布
 Fig.5 Visual and thermal image of Suwanosejima Volcano.

諏訪之瀬島山体の北側に熱異常域は認められなかった。



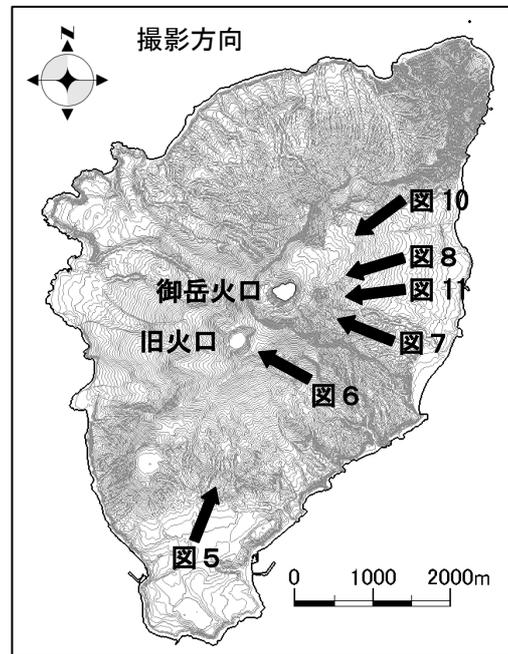
第6図 諏訪之瀬島 旧火口（文化火口）の可視及び地表面温度分布
 Fig.6 Visual and thermal image of Bunka crater.

熱異常域は認められなかった。



第7図 諏訪之瀬島 可視及び地表面温度分布
Fig.7 Visual and thermal image of Suwanosejima Volcano.

火口内以外に熱異常領域は認められなかった。



第8図 諏訪之瀬島 噴火の連続写真
Fig.8 Sequential visual images of eruption in Suwanosejima Volcano.

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図10mメッシュ(火山標高)』を使用した。



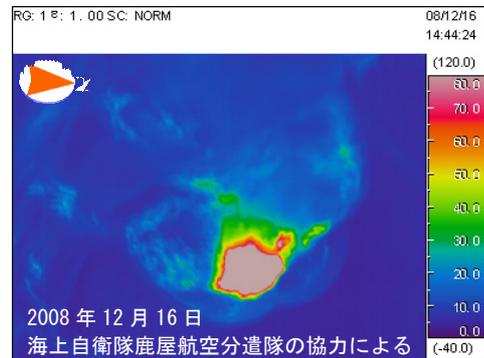
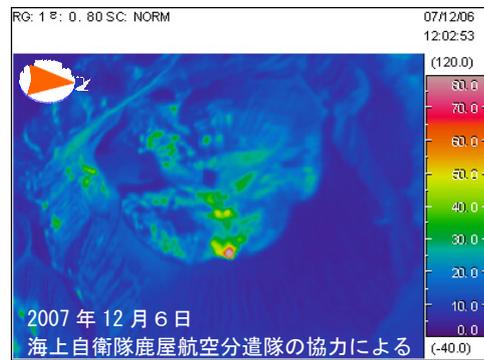
第9図 諏訪之瀬島 可視画像
Fig.9 Visual images of Suwanosejima Volcano.

御岳火山口周辺の状況等に、特段の変化認められなかった。



第10図 諏訪之瀬島 可視画像
Fig.10 Visual images of Suwanosejima Volcano.

御岳火山口周辺の状況等に特段の変化はなかったが、火山口に溶岩頭を視認した。



第11図 諏訪之瀬島 可視及び地表面温度分布
Fig.11 Visual and thermal images of Suwanosejima Volcano.

熱異常域が火山口底全体に広がっている。